



平成 27 年 11 月 5 日

各 位

会社名 日本海洋掘削株式会社
代表者名 代表取締役社長 市川 祐一郎
(コード番号：1606 東証第一部)
問合せ先 広報・IR室長 谷内 正彦
(TEL. 03-5847-5862)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 8 月 6 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,322	51	△91	△355	△19.74
今回修正予想(B)	37,403	△2,104	△2,535	△2,084	△115.80
増減額(B-A)	△2,918	△2,155	△2,444	△1,729	
増減率 (%)	△7.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	32,584	842	3,260	1,892	105.15

2. 修正の理由

平成 28 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想 (平成 27 年 8 月 6 日) を下回る見込みとなりました。

平成 27 年 8 月 31 日「『HAKURYU-12』による CGX 社掘削工事契約の早期終了について (開示事項の変更)」にて開示しましたとおり、CGX Resources Inc. との掘削工事契約の早期終了に伴い、別途締結される Settlement Agreement に従って、売上高に相当する補償金を分割して受領する予定ですが、一部につきましては来期の売上高に計上される見通しとなりましたこと、また、原油価格急落の影響による日割作業料率 (デイレート) の低下等事業環境の悪化を勘案し、受注活動中のリグについて掘削作業日数を保守的に見直しましたこと等から、売上高は前回発表予想比 7.2% の減少となる見込みとなりました。

売上原価につきましては、「HAKURYU-12」の復員費用等の減少が見込まれるものの、一部のリグで次期掘削契約に向けた整備工事の実施を織り込みましたことから売上原価の減少は微減にとどまり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想を下回る見通しとなりました。

*上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上